

富津市文化財審議会会議録

1 会議の名称	平成 22 年度第 1 回富津市文化財審議会
2 開催日時	平成 22 年 5 月 13 日 (木) 14 時 30 分～16 時 45 分
3 開催場所	富津市役所 2 階第 2 委員会室
4 審議等事項	別添会議録及び資料のとおり
5 出席者名	審議会委員 野中 徹 梶山林継 小坂一夫 高梨 正 鈴木順一 高橋 克 濱名徳順 笹生 衛 事務局 渡辺隆二 山中正弘 春木一夫 小沢 洋 桐村修司 伊藤伸久
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 80-1342 (2342)
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 22 年 5 月 20 日

富津市文化財審議会

委員 小坂 一 夫

委員 鈴木 順 一

文 化 財 審 議 会 会 議 録

発言者	発言内容
<p>事務局</p> <p>春木生涯学習課長</p>	<p>・あいさつ。</p> <p>公私共に何かとお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。本審議会委員総数 10 名、本日の出席委員は 8 名です。従って富津市文化財の保護に関する条例第 27 条第 2 項の規定により会議が成立したことを報告します。</p> <p>ただいまから平成 22 年度第 1 回富津市文化財審議会会議を開催します。議題に入るまでの間、事務局で会議を進めさせていただきます。</p> <p>それでは次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>委嘱状の交付を行います。教育長が委員席へ参りますのでお一人ずつ自席にてお受け取りください。</p> <p>～委嘱状交付式～</p> <p>渡辺教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>渡辺教育長</p>	<p>お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただ今出席されている委員の皆様には委嘱状をお渡しいたしました。この文化財審議会の委員は教育委員会の議決事項になっております。従いまして、3月の教育委員会定例会議において議決していただいたところです。市内には貴重な文化財が数多く存在しているのですが、皆様ご承知のとおり、市の財政はなかなか厳しい状況におかれています。委員の皆様には本当に歯がゆい思いをさせているのだろうとは察しますが、少ない文化財の予算を効果的に使いながら、何とか富津市の文化財を守り、また活用していく方策を考えていきたいと思っております。どうか2年間よろしくご指導いただけますようお願いいたします。</p>
<p>春木生涯学習課長</p>	<p>本日の会議資料について、小沢文化係長より説明させていただきます。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>それでは本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>～資料の確認～</p>
<p>春木生涯学習課長</p>	<p>市の公開条例に基づく当会議の公開について、ご説明いたします。</p> <p>～富津市情報公開条例に基づく公開の説明～</p> <p>平成 16 年 4 月 1 日に施行された富津市情報公開条例第 23 条の第 1 項に規定する会議については、情報公開の対象</p>

	<p>となり、本会議もそれに該当します。会議の内容については、会議録を作成し、開催結果を市のホームページ等により周知します。会議録の作成方法については、このあとの会長選出により決定した会長の一任ということでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは会長・副会長が決まるまでの間、渡辺教育長が議長となり進めさせていただきます。</p>
渡辺教育長	<p>次第の4. 会長・副会長の選出について、まずは会長の選出を行いたいと思います。この会長の選出につきましては富津市文化財の保護に関する条例第26条の第2項で、委員の皆様による互選で決定する、ということになっております。どなたかご推薦あるいはご意見ございませんか？</p>
小坂委員	<p>前回に引き続き野中会長、梶山副会長でお願いしたいと思います。</p>
渡辺教育長	<p>ただいま小坂委員から野中会長、梶山副会長の続投というご意見がありました。皆様いかがですか？</p>
野中委員	<p>せっかくご推薦いただいたのですが、健康上の理由により会長職は辞退させていただきます。梶山先生に会長をお引き受けいただきたいと思いますが。</p>
渡辺教育長	<p>小坂委員のご推薦内容とは変わってしまいましたが、是非、梶山委員に会長を、というお話でございます。皆様、いかがでしょうか？</p> <p>～一同 異議なし～</p> <p>それでは会長を梶山委員にお引き受けいただきたいと思います。会長が決まりましたので、ここから先は梶山会長の進行でお願いしたいと思います。</p>
梶山会長	<p>ただいま会長を仰せつかりました梶山です。よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは副会長の選出を行います。ご意見ございますか？ 野中先生、お願いできないでしょうか？</p>
野中委員	<p>副会長でならお手伝いできると思いますが。</p>
梶山会長	<p>皆様いかがでしょうか？</p> <p>～一同 異議なし～</p>

<p>春木生涯学習課 長</p>	<p>それでは副会長は野中先生にお引き受けいただきます。 よろしく申し上げます。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>本会議の会議録の署名について、どなたかお二方を選任 いただきたいのですが？</p> <p>先ほど会長一任という話がありましたので、鈴木委員と 小坂委員の2名を選任します。よろしく申し上げます。 では早速本日の議題に入りたいと思います。</p> <p>・議題(1)平成21年度文化財審議会事業報告について</p> <p>事務局より説明願います。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>それでは資料の2頁をご覧ください。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>第1回目審議会を平成21年4月28日(火)に、市役所5 階503会議室にて開催。議題としては6点。</p> <p>(1)平成20年度文化財審議会事業報告について (2)平成20年度文化財保護事業報告について (3)平成21年度文化財審議会事業計画について (4)平成21年度文化財保護事業計画について (5)内裏塚古墳周溝部の追加指定と土地の買上げにつ いて (6)指定候補物件の再検討</p> <p>第2回目は平成21年7月21日(火)に、仏像の現地調査 というかたちで実施。調査場所は下飯野観音堂。 市役所に程近い下飯野の観音堂の仏像調査を、是非実施 して欲しいとの地元からの要望に応えたものです。当日は 濱名委員と河本仏師が中心となり、文化財審議会として調 査しました。詳細レポートは8月に濱名委員によってまと められましたが、阿弥陀如来立像1体、青面金剛立像1体、 聖観音立像1体、三十三観音坐像のうちの29体というこ とでした。かなり老朽化が進み随所に傷みがみられたので すが、下飯野区の依頼を受けて、長南文化財修復室が修理を 実施しました。このときの修理報告書を下飯野区長から受 理しています。その後これらの仏像については、聖観音菩 薩はそのまま観音堂へ安置、それ以外については上飯野の 大福寺で預かってもらうということになったそうです。</p> <p>第3回目は平成21年12月17日(木)に、「安房地方の文</p>

- 化財①」と題した視察研修を実施。視察箇所は8箇所。
- (1) 源頼朝上陸地(鋸南町) 県指定
 - (2) 岡本城址(南房総市富浦町) 市指定
 - (3) 瀧淵神社石造群(南房総市富浦町) 市指定
 - (4) 那古寺(館山市) 国・県・市指定
銅造千手観音立像・木造千手観音立像・観音堂・大蘇鉄・自然林
 - (5) 館山市立博物館(館山市)
 - (6) 大巖院四面石塔(館山市) 県指定
 - (7) 舎那院山の磨崖仏(館山市) 市指定
 - (8) 千手院やぐら(館山市) 市指定

以上で平成21年度の文化財審議会事業報告を終わります。

梶山会長

質問は議題(2)平成21年度文化財保護事業報告説明後に一括して受けたいと思います。

- ・議題(2)平成21年度文化財保護事業報告について

事務局より説明願います。

小沢文化係長

それでは資料の3～4ページをご覧ください。

～資料をもとに事務局による説明～

○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

実施額 2,734,000円

(君津市・富津市の共同事業、総額4,971,000円)

事業概要：①被害防止…既設電気柵の維持管理
被害多発時期の追上げの実施
被害実態調査

②生態調査と個体数管理

③環境変化と生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

○市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)

実施額 3,403,000円

実施概要：個人住宅建設に伴う確認調査

植ノ台遺跡 6 34/476㎡

(弥生から古墳時代にかけての集落跡)

九条塚古墳 51㎡

(埋葬施設の調査)

計 2 件 85 m²

調査主体 富津市教育委員会

植ノ台遺跡6は、富津市絹に所在する弥生時代から古墳時代にかけての集落跡を調査しました。狭小な面積にもかかわらず、幾重にも重なり合った住居跡を確認しました。

九条塚古墳は、ちょうど100年ぶりの調査となりました。成果については、皆様にお配りした富津市内遺跡発掘調査報告書に掲載されていますが、後ほどプロジェクターを用いて調査担当者の伊藤から報告させていただきます。

○市内遺跡発掘調査報告書刊行

実施額 369,600 円

刊行部数 300 部

今年度の調査成果について収録

○富津市文化財集報1刊行

実施額 265,000 円

刊行部数 500 部

収録内容・入谷2号横穴墓

・佐貫城跡大手口西側

・内裏塚古墳群出土の頭椎大刀

平成17・18年度に富津市の事業に伴い調査した内容を記録したもの。他に内裏塚古墳群の出土遺物についての考察を収録しています。

○文化財周知板設置事業

実施額 72,975 円

事業概要：市指定文化財説明板の設置 2か所

・北村角兵衛の墓（花香谷・円龍寺）

・白山神社の大スギ（宝竜寺・白山神社）

いずれも既設のものが劣化したことによる付替えです。

○まちづくり交付金史跡案内板設置事業

・青堀駅西口史跡案内板原稿作成

実施額 367,500 円

・青堀駅東口史跡案内板原稿作成

実施額 420,000 円

いずれも青堀駅前に地図の入った史跡案内板を設置する予定なのですが、その原稿作成費となっています。実際に案内板を立てることになるのは平成22年度事業です。

○富津市指定文化財保存整備事業

・飯野陣屋濠跡草刈及び樹木伐採

実施額 200,000 円
・内裏塚古墳墳丘部樹木伐採
実施額 180,000 円

○文化財施設環境整備事業

実施額 378,000 円
実施箇所：弁天山古墳草刈
内裏塚古墳周溝部草刈
飯野文化財収蔵庫周辺草刈
大貫文化財収蔵庫周辺草刈
飯野陣屋土塁樹木伐採

県の緊急雇用創出事業補助金を活用して実施したもの。

○市道青堀駅東口第1号線整備事業に伴う埋蔵文化財の
試掘事業（まちづくり交付金事業）

実施額 111,300 円
実施箇所：大堀字水原・二間塚字内裏塚・西谷地区

○市道二間塚汐入線整備事業に伴う埋蔵文化財の試掘事
業（まちづくり交付金事業）

実施額 137,550 円
実施箇所：大堀字砂山地区

また、ここでは記してありませんが、内裏塚古墳群中の
方墳である亀塚古墳の墳丘部をお持ちの方から、土地の寄
附がありましたことをご報告いたします。

それではここで内裏塚古墳の追加指定と買上げ事業につ
いて、さらに金谷の鈴木家が国の登録文化財となりました
ので、その2点について桐村よりご説明いたします。

桐村主査

それでは、はじめに内裏塚古墳の追加指定と買上げ事業
についてご説明いたします。

～資料をもとに追加指定から土地の買上げに至った経緯
についての説明～

これについては昨年（平成27年）の第1回文化財審議会でも予定とし
て簡単に触れておるのですが、再度お話いたします。

話は国史跡内裏塚古墳の後円部東側周溝内における既存
住宅のリフォーム計画に起因します。鴨川市の不動産業者
が所有する物件だったのですが、平成14年に国史跡指定と
なった墳丘部の隣接地にあたり、未指定地とはいえ当該古
墳の周溝内での工事となるため、その計画自体を取り下げ

ていただき、その補償として市が買上げたというものです。この計画が立てられた時点では、未だこの土地は未指定であったため、国庫補助を受けるためにも、まずはこの土地を早急に国指定に追加する必要があったわけです。またこれを機に県指定地である他の2地点についても同時に国指定にしてしまおうということになりました。そのための期間として半年程を費やすことにはなったのですが、平成21年7月23日の官報告示をもって晴れて追加指定となりました。指定後、直ちに国庫補助金を活用して買上げることができたというものです。現在、建物は全て取り壊され、更地になっております。

続きまして、平成22年2月3日付けの官報告示をもって国の登録文化財となりました、金谷の鈴木家住宅についてご説明いたします。

皆様ご承知のとおり、鈴木家は江戸時代より海運業を営むとともに金谷の石丁場に関わりながら、代々名主を務めてきたという家柄です。屋号を芳家といい、金谷石の産出が終わる昭和60年代まで石切の操業を続けてきました。金谷の石切業に永く携わってきた家であるだけに、その部材に金谷石を贅沢に随所に多用しているのが特徴的で、今回、主屋・石蔵・稲荷社・井戸・石垣の5件の建物が登録となりました。

登録基準としては、主屋・稲荷社・井戸が、国土の歴史的景観に寄与しているものとして、石蔵・石垣が再現することが容易でないものとして評価されています。それぞれの建築年代については資料をご覧ください。

続きまして市内遺跡の発掘調査成果についてプロジェクターによりご説明いたします。

～プロジェクターを用いての説明～

以上で説明を終わります。

ただいま報告を受けた議題(1)・(2)について、質問等をお受けします。何かございますか？

内裏塚古墳の買上げについてお聞きする。対象物件を所有していたのはどこの不動産業者か？

鴨川市の(有)ライフプランという業者です。

九条塚古墳の調査で断層を確認したとありましたが、断層の見られるところまでが自然の地形であって、その上に

伊藤主査

梶山会長

小坂委員

桐村主査

高梨委員

伊藤主査	<p>盛土をして古墳が造られたということなののでしょうか？</p> <p>あくまでも断層があるところまでが今残っているプライマリーな元々の層であるということ。古墳ができてからある時期に大きな地震が起こって、断層が生じた。その後、何百年後かに明治の発掘調査が行われ、また埋め戻されたということです。その発掘の部分までは断層が及んでないということから、明治期の発掘以前の古いものであるということが言えるわけです。</p>
笹生委員	<p>断層というよりも墳丘がずれているといった方が良いのかもしれない。墳丘の盛土部分が下に落ちているということですね。</p>
梶山会長	<p>いろいろと報告がありましたが、市も財政が厳しい中で、今回、史跡の買上げができたということは文化財審議会としても非常に喜ばしいことだと思います。</p> <p>それから金谷の鈴木家の文書類はどうなっているのか？いずれここの文書も調査しなくてはいけないと思う。</p>
高橋委員	<p>千葉県史の関係で目録は作成したと聞いている。</p>
梶山会長	<p>それでは次の議題に移ります。</p>
小沢文化係長	<p>・議題（3）平成22年度文化財保護事業について</p> <p>事務局より説明願います。</p> <p>それでは資料の5～6ページをご覧ください。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業 予算額 2,460,000円 事業内容：①被害防止事業 ②生態調査と個体数管理 ③環境改変と生息環境調査 事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団</p> <p>昨年比、274,000円が減額となっています。これまでは被害防止を中心に取組んできたが、今後は生態調査や環境改変について重点的に取組んでいこうという話もできています。</p>

○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

予算額 3,535,000 円

実施内容：個人住宅建設等に伴う確認調査
300／3,000 m²

重要遺跡範囲確認調査

調査主体 富津市教育委員会

富津市文化財集報作成（302,400 円）

既に飯野陣屋内での確認調査が予定されています。

○民間開発発掘調査事業（事業者負担分）

予算額 8,204,000 円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査
125／1,250 m²（確認）

1,250 m²（本調査）

調査主体：富津市教育委員会

○文化財周知板設置事業

予算額 73,000 円

事業内容：既設の指定文化財説明板の老朽化に伴う付
替え並びに新規指定物件の周知板の設置 2か所（場所
は未定）

○市文化財整備事業

予算額 180,000 円

事業内容：内裏塚古墳墳丘部樹木伐採

これまでは、飯野陣屋周濠の樹木伐採費も計上してあり
ましたが、緊急雇用対策事業でも同様なことを実施しま
すので、平成 22 年度からは除いてあります。

○史跡案内板設置事業（まちづくり交付金事業）

予算額 7,438,000 円

（1） 青堀駅前史跡案内板設置委託

（青堀駅西口・東口設置の地図入り案内板）

西口のものはスチール製、東口は陶板を予定。

（2）内裏塚古墳道路標識設置委託

（山久交差点付近・亀下交差点付近）

○青堀駅自由通路床サイン陶板製造事業（まちづくり交
付金事業）

予算額 1,400,000 円

（1） 青堀駅自由通路床サイン

7 枚作成（各古墳の方向・距離表示）

内裏塚・九条塚・三条塚・稻荷山・割見塚・古塚・上野塚

○文化財ガイドブック作成事業（まちづくり交付金事業）
予算額 11,005,000 円

（１） 富津市文化財ガイドブック印刷製本
平成元年に刊行された『富津市の文化財』に変わるもの。

○古墳案内人育成支援事業（まちづくり交付金事業）
予算額 400,000 円

（１） 講習用教材印刷製本
「内裏塚古墳群総覧改訂版」

○文化財・文化財施設環境整備事業

予算額 8,500,000 円
内裏塚・弁天山古墳等草刈
各文化財収蔵庫周辺草刈
飯野陣屋土塁樹木伐採

6 ページに平成 22 年度の文化財保護関係予算として表にまとめてあります。この中で大きなものとして、史跡用地取得費の 16,219,000 円があります。昨年度に引き続き、また内裏塚古墳の史跡購入事業として、8 割の国庫補助を得て実施するものです。今年度は墳丘部と後円部周溝の一部を買上げる予定です。

以上が平成 22 年度の文化財保護事業です。

梶山会長

ただいま説明を受けた議題（３）について、質問等をお受けします。何かございますか？

ないようですので、次の議題に移ります。

・議題（４）平成 22 年度文化財審議会事業計画について

事務局より説明願います。

小沢文化係長

それでは資料の 7 ページをご覧ください。

この計画については、審議委員の皆さんの話し合いで決めていただければ良いと思います。

～資料をもとに事務局による説明～

第 1 回の審議会は本日開催しています。

（１）平成 21 年度文化財審議会事業報告について
（２）平成 21 年度文化財保護事業報告について

- (3) 平成 22 年度文化財審議会事業計画について
- (4) 平成 22 年度文化財保護事業計画について
- (5) その他

第 2 回以降の予定については、一応事務局の方で案をだしてあります。

第 2 回目は 7 月中の実施を予定してみました。

・第一海堡保存・活用の方向性について

第一海堡については、文化庁の報告書が今年度中に出る予定だそうです。これに先立ち、平成 21 年度に千葉財務事務所から第一海堡の扱いについて、市としてどのようにお考えか？ということで話が持ちかけられました。これは教育委員会だけに限らず、市全体としての意見を聞かせて欲しいとのことでしたので、企画財政部も含めた三者協議を行いました。結論的には、財務省としては第一海堡を自分たちの所管から手放したいという考えを持っているようです。それが文化庁に所管換えとなるのか、あるいは市にそのまま下りてきてしまうのかは未だ判らないのですが。いずれにせよ近い将来、避けては通れない問題であると思いますので、審議会としての意見を伺いたく、議題に採り上げてみようということになりました。

・指定候補物件の確認

平成 19・20 年度と進めてきた中で、いくつか保留になっている問題について、今後どのように発展していくのか、また濱名委員からのご指摘がありましたように、一部市指定文化財を県指定へとする格上げの問題等について、再審議していただければということで挙げてあります。

・登録有形文化財・鈴木家住宅と金谷美術館

昨年、国の登録を受けた物件について、またこの 3 月にオープンしたばかりの金谷美術館も関連がありますので、一度視察を実施してはいかがかと思い、挙げてあります。

第 3 回については、10 月から 11 月頃になると思いますが、昨年度、安房地方の文化財①として、主に館山市と南房総市の西部、鋸南町の文化財についての視察研修を行いました。今回は鴨川方面や南房総市の東部地区の文化財について、視察研修してはいかがかということで組んでみました。先ごろ話題となりました波の伊八について、鴨川市の職員で熱心に研究している方がいますので、案内をお願いするのも一つの手かなと思います。

<p>梶山会長</p>	<p>第4回については、年度末に実施し、毎年行っているような事業報告と次年度事業の検討を中心に考えています。</p> <p>以上、事務局（案）として提案させていただきましたので、委員の皆様でご検討いただければと思います。</p> <p>ただいま事務局から提案がありました。第2回・第3回の内容についていかがですか？ 内容については事務局（案）で良いように思いますが。</p> <p>～一同 異議なし～</p>
<p>梶山会長</p>	<p>第2回目について、この内容で動くのであれば、午前中に会議、午後から視察ということになるだろう。どこか金谷で会議のできるような場所があれば。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>日程・場所については、後日調整いたします。</p>
<p>野中委員</p>	<p>多田元吉の件も、当日採り上げていただきたい。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>午前中の会議で扱うことになろうかと思えます。事務局としての意見を述べさせていただくと、単品で1件とかということではなく、指定にかけるのであれば複数件を一気にかけてしまいたいということで、その分、審議を深めていきたいと考えているのですが。</p>
<p>野中委員</p>	<p>それから、上総湊駅前の旧法務局跡の扱いについてですが、まだ収蔵庫的な扱いのままとなっているのですよね？もっと文化財を展示するなどして、市民に一般公開するなどしながら活用していく方法は採れないのか？</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>なかなか職員が常駐するということができないので、難しい問題であるかとは思いますが。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>実際、行うとなれば盗難防止のことも考えなければならぬであろうし、難しい問題とは思いますが。市の文化祭の期間を利用して文化財の一般公開を行うとか、今後は考えていかなければならないだろう。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>期間を限定しての公開ということであれば、可能とは思いますが、今後、前向きに考えて行きたいと思えます。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>既に、次第の6. その他、に入っているようにも思いますが、この際、何かあればお願いします。</p>

小坂委員	<p>富津岬の海浜植物について、北岸では関係者の努力で車両の乗り入れがなくなったが、南岸では車止めの杭が一部壊れており、大潮の時など4WD車が進入してハマボウフウが踏み荒らされている状態である。磯根崎や湊ではハマボウフウが守られて見事な景観であるので、富津岬の南岸についても何らかの措置が講じられないだろうか。</p>
梶山会長	<p>今の点については、また事務局で検討してください。</p>
小沢文化係長	<p>海浜植物の件については、商工観光課と協議します。</p>
高梨委員	<p>最近では歴史散歩がしたいという市民の要望が高くなってきている。広報ふつつの市宝探訪や文化財マップの影響もあるのではないかと思います。先月「アド街ック天国」で採り上げられたような内容も含めて、最近の市民のニーズに応じてオリジナルな観光ツアーなどが組まれるようになれば、富津市の活性化、また若い人たちの雇用の創出にもつながるのではないかと。</p>
梶山会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。市民活動的な地道な活動が湧き上がればと思いますが。また審議会として考えてみても良いと思いますので、市の活性化につながるようなことをバックアップしていければと思いますし、いろいろな案が立てられれば面白いと思います。</p>
笹生委員	<p>県でもそういうことは観光課でシンポジウム等を開催しています。文化財課が計画するとなると、どうしても対象が文化財だけになってしまう。そうなると勉強会のような意味合いが強くなってしまいますので、それはそれで人払いをしてしまう可能性をはらんでいるのだと思う。ある程度、食べ物とか買い物とかといった楽しみも一緒に入れていかなければ人を集めることは難しいだろう。</p>
小沢文化係長	<p>高梨先生も加わっておられる佐貫いしずえの会が、マップを作られましたが、あれもなかなか好評のようですね。</p>
濱名委員	<p>岩谷堂やぐらの年代観や内容も含めて、再調査を進めるべきではないでしょうか。市の文化財としても、あるいは観光的にみても非常に重要なのではなかろうかと感じている。</p>
梶山会長	<p>あそこは地元でも協力してくれるであろうし、その辺については可能だと思う。確かに判らないことも多いので、掘り下げてみる必要はあるかもしれない。</p>

濱名委員	<p>私のテリトリーである山武市では、山武仏教文化研究会が主催、山武市教育委員会が共催、山武市の後援による「山武市社寺特別公開」（一斉公開）を2日間限定で無料で実施している。文化財を所有しているお寺はほとんど参加してくれるようになったのですが、今年で4回目を数え、昨年は市の40人乗りのバス1台と、それに乗りきれない方の車20台程で、計60名以上の参加者があった。仏像等の文化財の公開のみならず、一般市民が檀家でもない他寺の本堂に入る機会などなかなかないであろうし、ましてや檀家であってもご本尊などを見たことがないという人もかなり多いと思うので、なかなか良い試みであると考えている。</p>
小沢文化係長	<p>参加者は山武市民が多いのですか？</p>
濱名委員	<p>東葛方面であったり、意外と多方面から参加してくれている。山武市民は半分くらいだろう。広報のやり方一つで参加者の入りはかなり影響する。やはり市がニュースをリリースする方法が最も効果的であるようだ。あとは新聞をうまく使うこと。</p>
小沢文化係長	<p>現在、市の広報紙に「市宝探訪」と題し、平成18年から市の文化財を連載するコーナーを設けているのですが、これについて、文化財審議委員のみなさんの協力が得られれば市宝探訪ツアーのようなものも企画できるのではないかと思います。</p>
渡辺教育長	<p>最近、小中学校の教員も東北出身者であったり、地元以外の方がたくさんいらっしゃいます。富津の良さを子どもたちに教えてくれるはずの先生が、実は富津のことを何も知らないという状況が生まれつつありますので、今夏、小沢文化係長を中心とした講師陣による、若い先生方を対象とした研修を行う計画を立てています。その一般市民版みたいなことを考えればよいのではないのでしょうか。</p>
梶山会長	<p>今、濱名委員からもありましたが、一方では観光面とも結びつかせながら、何か良い方法での歴史散策的なものとかを、経費をあまりかけずに上手にやっていければと思います。</p>
高橋委員	<p>高宕山のサルについて、何か専門家の話を聞くなり、勉強できる機会をつくってもらえないだろうか？ また前回も言ったが報告書を入手できればと思う。</p>
梶山会長	<p>いろいろと出たようですが、他に何かありますか？</p>

春木生涯学習課
長

ないようですので、事務局へお返しする。

長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。
以上をもちまして平成 22 年度第 1 回富津市文化財審議会
会議を閉会いたします。

閉 会